

# 令和4年度 「犬山市の子どもたち」

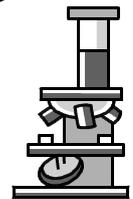
令和4年4月19日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。

対象学年は、本年度の小学校6年生と中学校3年生です。調査の内容は、小学校6年生は国語・算数・理科、中学校3年生は国語・数学・理科の3教科です。さらに、質問紙による学習状況や生活の様子についても調査が行われました。この調査から見てきた、犬山の子どもたちの状況をお知らせします。各学校においては、それぞれ自校で調査結果を分析し、個人票と合わせて保護者にお知らせしています。

## 1 犬山市全体の正答率を全国平均と比べて

学年	国語	算数	理科
小学校6年生	ほぼ全国並み	ほぼ全国並み	やや高い

学年	国語	数学	理科
中学校3年生	やや高い	ずいぶん高い	ずいぶん高い



## 2 学習指導要領の領域等

学年	〈国語〉	〈算数・数学〉	〈理科〉
小6	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の特徴や使い方に関する事項</li> <li>情報の扱い方に関する事項</li> <li>我が国の言語文化に関する事項</li> <li>話すこと・聞くこと</li> <li>書くこと</li> <li>読むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数と計算</li> <li>図形</li> <li>測定</li> <li>変化と関係</li> <li>データの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エネルギー」を柱とする領域</li> <li>「粒子」を柱とする領域</li> <li>「生命」を柱とする領域</li> <li>「地球」を柱とする領域</li> </ul>
中3	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の特徴や使い方に関する事項</li> <li>情報の扱い方に関する事項</li> <li>我が国の言語文化に関する事項</li> <li>話すこと・聞くこと</li> <li>書くこと</li> <li>読むこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数と式</li> <li>図形</li> <li>関数</li> <li>データの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エネルギー」を柱とする領域</li> <li>「粒子」を柱とする領域</li> <li>「生命」を柱とする領域</li> <li>「地球」を柱とする領域</li> </ul>

## 3 学習に関する傾向

### 小学校6年生

国語は、言葉の特徴や使い方に関することは全国平均をやや下回る結果となっています。漢字を文の中で正しく使えるようになることがよいです。話すこと・聞くこと、書くこと、読むことにおいては全国平均を上回っています。特によくできたところは、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることや登場人物の相互関係について描写を基に捉えることです。

算数は、変化と関係以外は全国平均をやや上回る結果となっています。百分率で表された割合を分数で表す力をつけることが必要です。数と計算についての思考・判断・表現力はあります。図形における知識・技能もよく身に付いています。

理科は、「粒子」を柱とする領域と「地球」を柱とする領域が特によくできています。

### 中学校3年生

国語は、すべての領域において全国平均をやや上回る結果となっています。しかし、聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することや論理の展開などに注意して聞く力をもう少し伸ばす必要があります。特に優れているところは、文脈に即して漢字を正しく書くことや場面や描写を結び付けて内容を解釈することです。

数学は、すべての領域において全国平均をずいぶん上回る結果となっています。特に、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することや、計算をしたり、データを活用したりすることがよくできています。

理科は、すべての領域で全国平均を上回る結果となっています。特に化学変化に関する知識及び技能が優れています。

#### 4 学習状況や生活の様子について

質問紙による結果から、次のような状況がうかがわれました。

(○は全国平均を上回り、●は全国平均を下回る項目です)

##### 小学校6年生

- 朝食を毎日食べている。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。

##### 中学校3年生

- 住んでいる地域の行事に参加している。
- 新聞を読んでいる。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げようとする。
- 難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している。

#### 5 ICT機器活用について

- ・ 「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」の質問に対しては、「ほぼ毎日」「週3回以上」と答える児童生徒の割合が全国平均よりもやや多かった。
- ・ 「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか」の質問に対しては、「ほぼ毎日」と答える児童生徒の割合が全国平均よりもやや少なかった。
- ・ 「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の質問に対しては、小学生は全国平均とほぼ同じ割合で回答し、中学生は全国平均よりやや少ない割合で回答をした。

#### 6 質問紙調査から分かる、これから各学校で力を入れたいこと

- ・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感
- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ・ 学習に対する興味・関心や授業の理解度を高める取組

#### 【犬山市における今後の取組】

- 読解力向上プログラムに基づいて図書館活用を促進し、各学校が工夫し、すすんで読書に親しむ子どもの育成を図ります。
- 読解力テストなどの具体的な指標を基に、授業改善を進め、学ぶ楽しさ、分かる喜びを味わうことのできる子どもの育成を図ります。
- 学習において問題を読み解く力、読解力の育成を図ります。
- ICTの活用に努め、教員のICT機器の活用研修をさらに進め、一人一台のタブレット端末を活用した授業の中で、個別最適で協働的な学習を進めます。
- 自ら課題を発見し、解決策を見出すことを繰り返すことによって、自分で計画を立てて学習に取り組める子どもの育成を図ります。

〈担 当〉 犬山市教育委員会 学校教育課  
〈電 話〉 0568(44)0350  
〈電子メール〉 070200@city.inuyama.lg.jp